

一歩踏み出したからこそ、 見える風景がある。

飯村ファーム 飯村雅一 Iimura Masakazu



イチゴ農家の飯村さんは、新規就農から4年目の農家です。以前はユニットバスの組み立ての仕事をしていたのですが、コロナ禍で仕事が少なくなり、一度立ち止まって、将来のことを考えました。そんな時、知人のいちご農家を手伝う機会を得ます。

土に触れ、イチゴが実る瞬間に立ち会いうちに、農業に魅力を感じるようになりました。約2年間の修業期間を経て、筑西市内で独立。

田んぼだった土地を借り、一からハウスを建てました。苗づくりに失敗し、イチゴの病気に悩み、収入がゼロになる不安も抱えました。それでも、周囲の人に助けをもらい、試行錯誤を重ねた結果、今はハウスの中いっぱい、赤くて甘いイチゴを実らせています。「一歩踏み出してみないと、何も始まらないでしょ」。そう話す飯村さんは、できる限り農薬に頼らない栽培方法に挑戦し始め、次の一歩を踏み出そうとしています。

■ 飯村さんのおすそわけは、
農業を始めたい人にアドバイスすることです。

連絡先は、メール：stiimurafarm15@gmail.com